

GM-200

Guitar Amp Modeler

VAMS

オペレーションマニュアル

はじめに

このたびはZOOM GM-200(以下“GM-200”と呼びます)をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。GM-200は、次のような特長を備えたモデリングギターアンプシミュレーターです。

■多彩なギターアンプサウンドを再現

ズーム独自のVAMS (Variable Architecture Modeling System) 技術により、著名なギターアンプの音質や特性をモデリング。AMP SELECT (アンプセレクト) スイッチを切り替えるだけで、50年代のビンテージモデルから最新モデルまで、多彩なアンプサウンドが再現できます。

■さまざまな再生システムに対応

接続する再生システムや録音機器に応じて、最適な音質が得られるように出力特性や信号の処理方法を変更するOUTPUT CHARACTER (アウトプットキャラクター) スイッチを搭載。ラジカセを使った個人練習からステージやリハーサルでの演奏、MTRを使ったライン録音まで、幅広い用途に利用できます。

■ギタープレイに欠かせない4種類のエフェクトを内蔵

ビンテージコーラス、トレモロ、テープエコー、スプリングリバンプなど、ギターサウンドに欠かせないビンテージエフェクトを再現する4種類のエフェクトを搭載。パネル上のノブ1つで、エフェクトの選択やかかり具合の調節が行えます。

■多彩な入出力端子を装備

入力端子には、ギター接続用のフォーン端子以外に、ライン入力用のMIX IN端子(ステレオミニ端子)を装備。CDプレーヤーやMDプレーヤーを接続してギターからの信号とミックスし、CDやMDの音楽とセッションが楽しめます。出力端子は、ステレオフォーン端子とRCAピンの両方を用意。ギターアンプからオーディオシステム、ラジカセまで接続先を選びません。また、ステレオフォーン端子にヘッドフォンを接続すれば、夜間の個人練習にも活用できます。

■電池駆動も可能な2電源方式

ACアダプター以外に、単三電池×6本による駆動も可能な2電源方式。コンパクトエフェクター感覚で、ステージやリハーサルスタジオに持ち込めます。

GM-200の機能を十分にご理解いただき、未永くご愛用いただくためにも、ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いいただきますよう、お願い申し上げます。

目次

安全上のご注意/使用上のご注意	2
各部の名称と機能	3
フロントパネル/リアパネル	3
接続しましょう	4
電池で駆動する	5
電源を入れる	5
GM-200を使ってみよう	6
アウトプットキャラクター一覧	8
アンプタイプ一覧	9
サンプルセッティング	10
故障かな?と思う前に	
製品仕様	

安全上のご注意

この取り扱い説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味はつぎの通りです。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。



電源について

本製品は、消費電流が大きいため、ACアダプターのご使用をお勧めしますが、電池でお使いになる場合は、アルカリ電池をご使用ください。

ACアダプターによる駆動

- ACアダプターは、必ずDC9Vセンターマイナス300mA（ズームAD-0006）をご使用ください。指定外のACアダプターをお使いになりますと、故障や誤動作の原因となり危険です。
- ACアダプターの定格入力AC電圧と接続するコンセントのAC電圧は必ず一致させてください。
- ACアダプターをコンセントから抜く時は、必ずACアダプター本体を持って行ってください。
- 長時間ご使用とならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

乾電池による駆動

- 市販の1.5V単三乾電池×6本（アルカリ）をお使いください。
- GM-200は充電機能を持っていません。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をGM-200から取り出してください。
- 万一、乾電池の液もれが発生した場合は、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取ってください。
- ご使用の際は、必ず電池ボックスを閉めてください。



使用環境について

GM-200をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となります。必ずお避けください。

- 温度が極端に高くなる所や低くなる所
- 湿度が極端に高い所
- 砂やほこりの多い所
- 振動や衝撃の多い所



取り扱いについて

- GM-200に異物（硬貨や針金など）または液体（水、ジュースやアルコールなど）を入れないように注意してください。
- ケーブルを接続する際は、各機器の電源を必ずオフしてから行ってください。
- 移動させる場合は一旦電源をオフにして必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。



改造について

- ケースを開けたり改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねます。

使用上のご注意

他の電気機器への影響について

GM-200は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周辺に設置すると影響がでる場合があります。そのような場合は、GM-200と影響する機器とを十分に距離をおいて設置してください。デジタル制御の電子機器では、GM-200も含めて、電波障害による誤動作やデータ破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

お手入れについて

GM-200が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにPOWERスイッチを切り、他の接続されているケーブル類も外してください。「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

保証書の手続きとサービスについて

保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。ご購入された店舗で必ず保証書の手続きをしてください。万一、保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。

ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

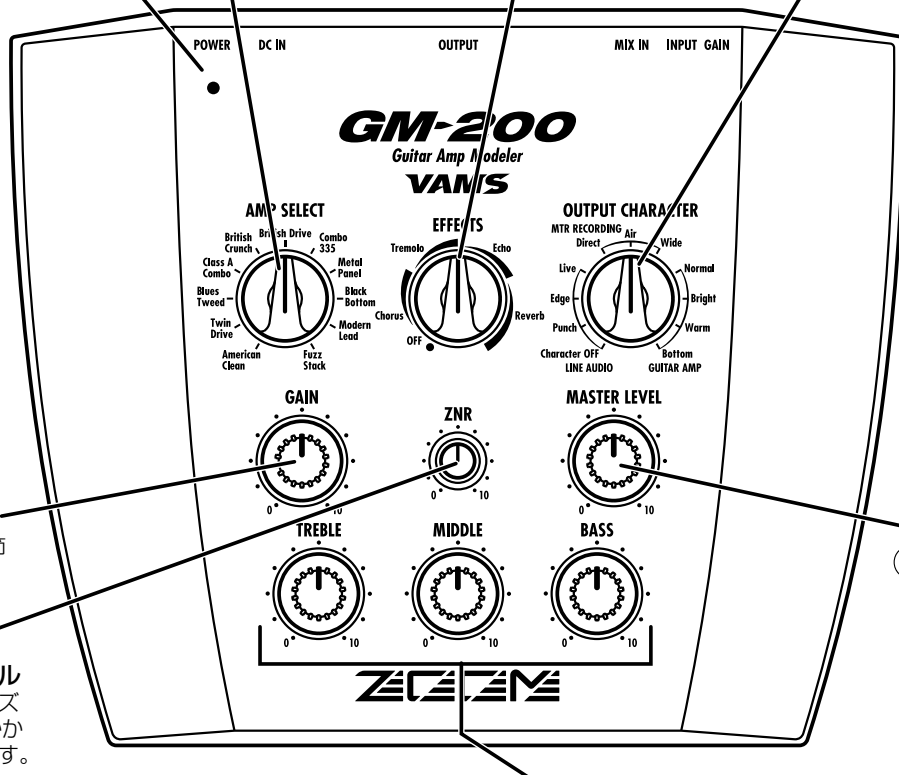
1. 保証書のご提示が無い場合
2. 保証書にご購入の年月日、販売店名の記述が無い場合
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合
4. 指定業者以外での修理、改造が不適当なため生じた故障の場合
5. 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合
6. ご購入後に製品が受けた過度の衝撃による故障の場合
7. 本製品に起因しない事故や人災および天災による故障の場合
8. 消耗品（電池など）を交換する場合
9. 日本国外でご使用になる場合

保証期間が切れますと修理は有償となりますが、引き続き責任を持って製品の修理を行ないます。

このマニュアルは将来必要となることがありますので必ず参照しやすいた所に保管してください。

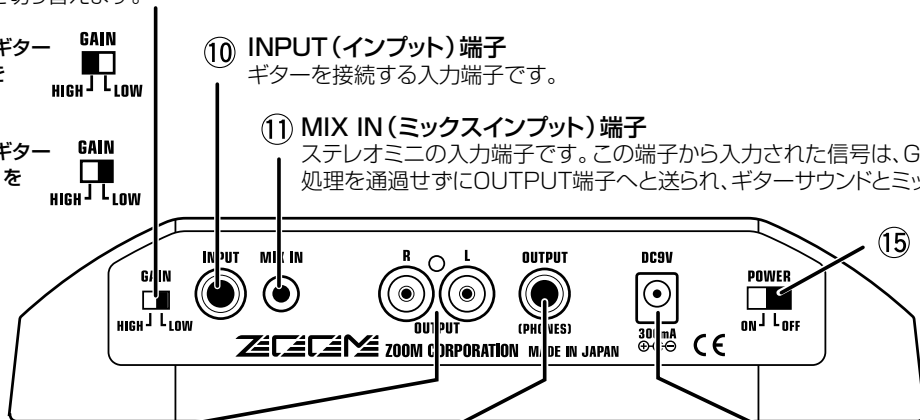
フロントパネル

- ① **POWER (電源) インジケータ**
GM-200の電源がオンのときに、このLEDが点灯します。電池を使用している場合は、電池の残量が少なくなったときにLEDが点滅します。
- ② **AMP SELECT (アンプセレクト) スイッチ**
モデリングするギターアンプを11種類の中から選択します。
- ③ **EFFECTS (エフェクト) コントロール**
エフェクトタイプ (効果の種類) を4種類の中から選択し、かかり具合を調節します。
- ④ **OUTPUT CHARACTER (アウトプットキャラクター) スイッチ**
GM-200を接続した再生システムや使用目的に応じて、出力信号の特性や内部処理を切り替えます。
- ⑤ **GAIN (ゲイン) コントロール**
歪みの強さを調節します。
- ⑥ **ZNRコントロール**
ZNR (ズームノイズリダクション) のかかり具合を調節します。
- ⑦ **MASTER LEVEL (マスターレベル) コントロール**
信号の出力レベルを調節します。
- ⑧ **TREBLE/MIDDLE/BASS (トレブル/ミドル/ベース) コントロール**
ギターアンプ感覚で音作りが行える、3バンドのトーンコントロールです。TREBLEコントロールは高音域、MIDDLEコントロールは中音域、BASSコントロールは低音域の音量を調節します。



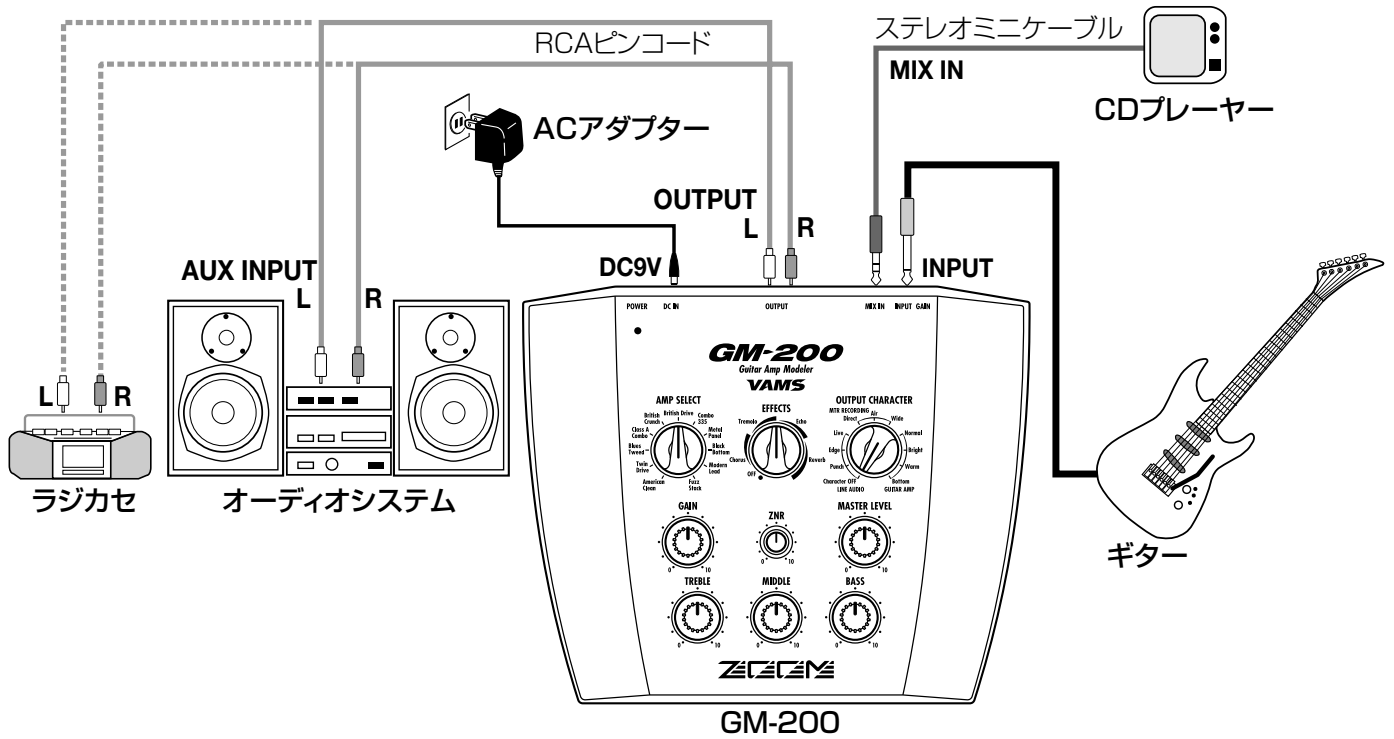
リアパネル

- ⑨ **INPUT GAIN (インプットゲイン) スイッチ**
INPUT端子 (⑩) から入力される信号のゲイン (増幅量) を切り替えます。
- ⑩ **INPUT (インプット) 端子**
ギターを接続する入力端子です。
- ⑪ **MIX IN (ミックスインプット) 端子**
ステレオミニの入力端子です。この端子から入力された信号は、GM-200内部の信号処理を通過せずにOUTPUT端子へと送られ、ギターサウンドとミックスされます。
- ⑫ **OUTPUT L/R (アウトプットL/R) 端子**
RCAピンのステレオ出力端子です。ハイファイなオーディオシステム、ラジカセ、MTRなどのライン入力機器に接続します。
- ⑬ **OUTPUT (アウトプット) 端子**
ギターアンプに接続するステレオフィョンの出力端子です。Y字ケーブルを使って2台のギターアンプを接続したり、直接ヘッドフォンを接続してモニターすることも可能です。
- ⑭ **DC IN (ACアダプター) 端子**
GM-200をACアダプターで使用するとき、この端子にACアダプターを接続します。
- ⑮ **POWER (電源) スイッチ**
電源のオン/オフを切り替えます。



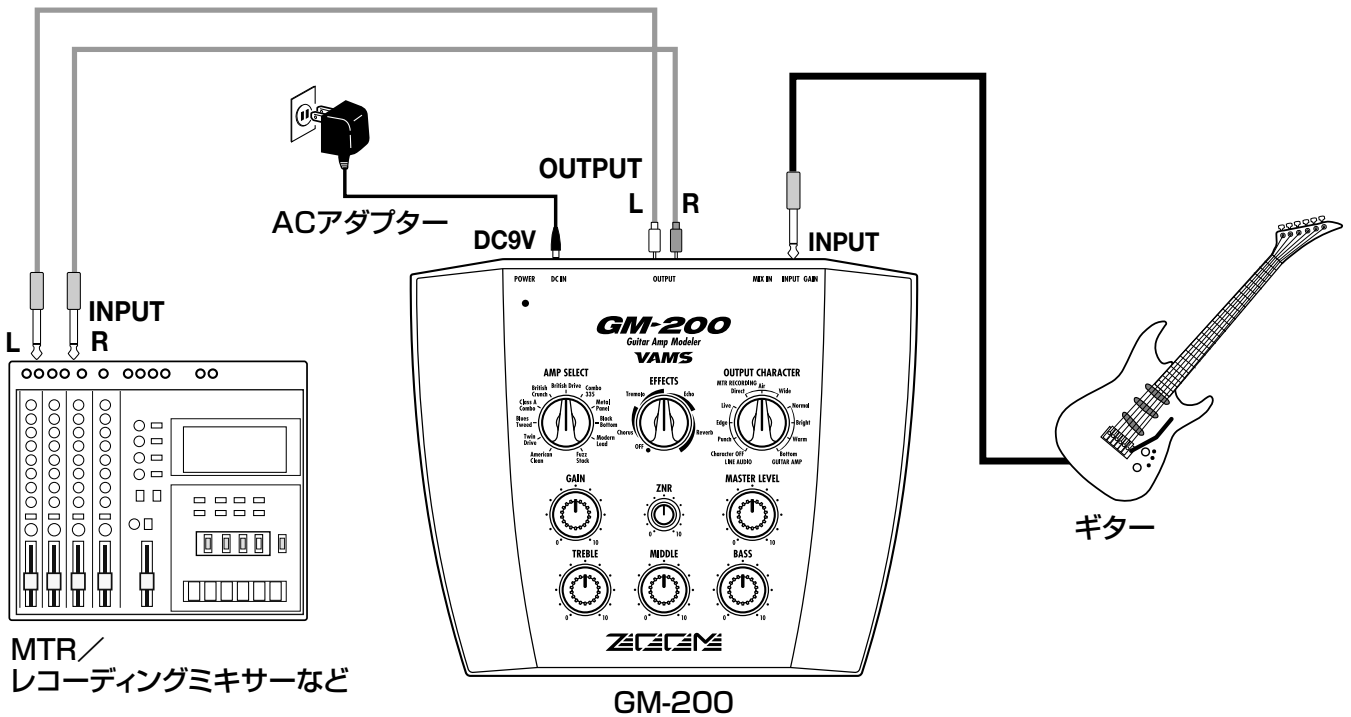
NOTE INPUT GAINスイッチの切り替えはアンプや本機の電源を切った状態で行ってください。電源が入ったまま切り替えると大きなノイズが出て、スピーカーを傷める恐れがあります。

オーディオシステムに接続する(ラインオーディオ用)



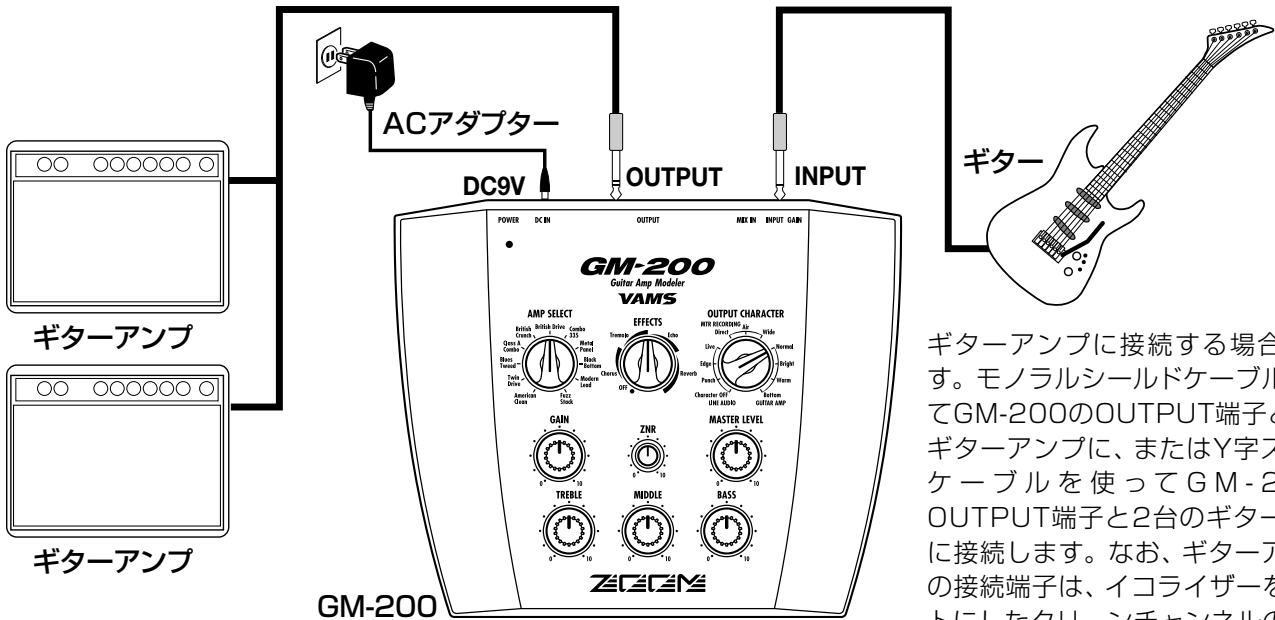
オーディオコンポやラジカセなどの再生システムに接続する場合の例です。オーディオ用のRCAピンコードを2本使って、GM-200のOUTPUT L/R端子と、オーディオシステムのAUX入力(ライン入力)を接続します。また、ステレオミニケーブルを使って、GM-200のMIX IN端子にCDプレーヤーやMDプレーヤーのライン出力を接続すれば、CDやMDの音楽とセッションが楽しめます。

MTR/レコーディングミキサーに接続する(レコーディング用)



MTR/レコーディングミキサーなどに接続する場合の例です。モノラルケーブル(×1本)、またはRCAピン→フォーンケーブル(×2本)を使って、GM-200のOUTPUT端子(またはOUTPUT L/R端子)とMTRのライン入力端子を接続します。

ギターアンプに接続する(ギターアンプ用)

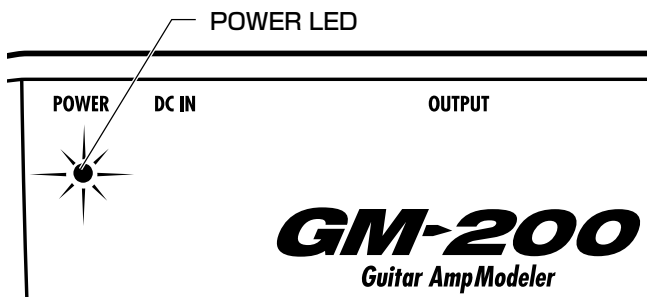


ギターアンプに接続する場合の例です。モノラルシールドケーブルを使ってGM-200のOUTPUT端子と1台のギターアンプに、またはY字ステレオケーブルを使ってGM-200のOUTPUT端子と2台のギターアンプに接続します。なお、ギターアンプ側の接続端子は、イコライザーをフラットにしたクリーンチャンネルの入力端子をご利用ください。

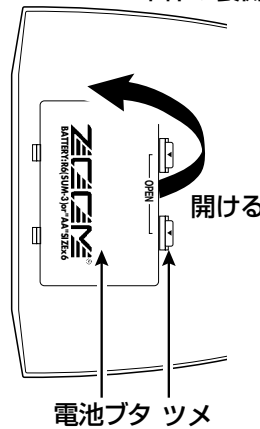
電池で駆動する／電源を入れる

電池で駆動する

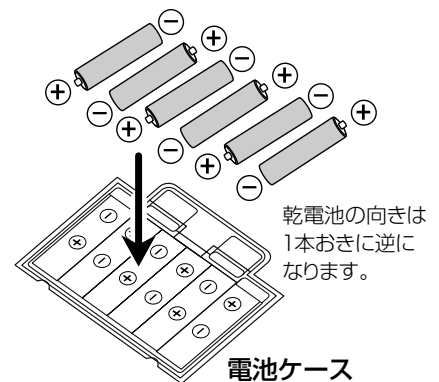
GM-200は、ACアダプターで使用する以外に、単三乾電池(アルカリ)×6本で駆動させることも可能です。GM-200を電池で使用しているときは、電池の残量が少なくなるとフロントパネルのPOWERインジケータが点滅を始めます。この場合は、速やかに電池を交換してください。



GM-200本体の裏側



単三乾電池6本



電源を入れる

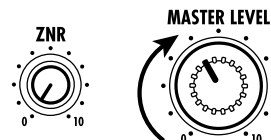
1. GM-200にACアダプター、ギター、再生装置が正しく接続されていることを確認してください。

NOTE INPUT GAINスイッチの切り替えはアンプや本機の電源を切った状態で行ってください。電源が入ったまま切り替えると大きなノイズが出て、スピーカーを傷める恐れがあります。

2. GM-200のZNRコントロールとMASTER LEVELコントロール、および再生装置のボリュームをすべて絞ってください。

3. GM-200→再生装置の順に電源を入れてください。

4. GM-200のMASTER LEVELコントロールと再生装置のボリュームを上げ、適切な音量が得られるように調節してください。



GM-200を使ってみよう

GM-200を使って音色を作るときの手順と操作方法を説明します。

1. アウトプットキャラクターを選ぶ

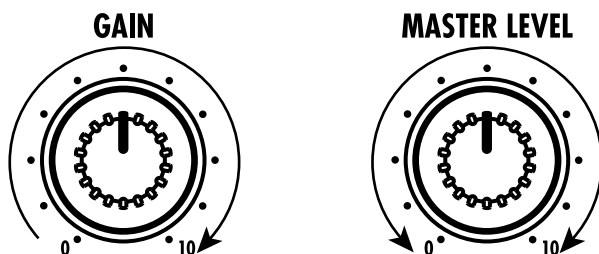
OUTPUT CHARACTERスイッチを使って、GM-200から出力される信号の特性(アウトプットキャラクター)を選択します。8ページの「アウトプットキャラクター一覧」を参考に、GM-200を接続する再生システムに応じて選択してください。

2. アンプタイプを選ぶ

AMP SELECTスイッチを使って、モデリングするギターアンプの種類(アンプタイプ)を選択します。選択可能なアンプタイプについては、9ページの「アンプタイプ一覧」をご参照ください。

3. 歪みの強さと音量を調節する

歪みの強さを調節するには、GAINコントロールを使用します。GAINコントロールを上げて歪みが増えるほど音量も増大していきますので、MASTER LEVELコントロールを使って音量レベルを調節してください。

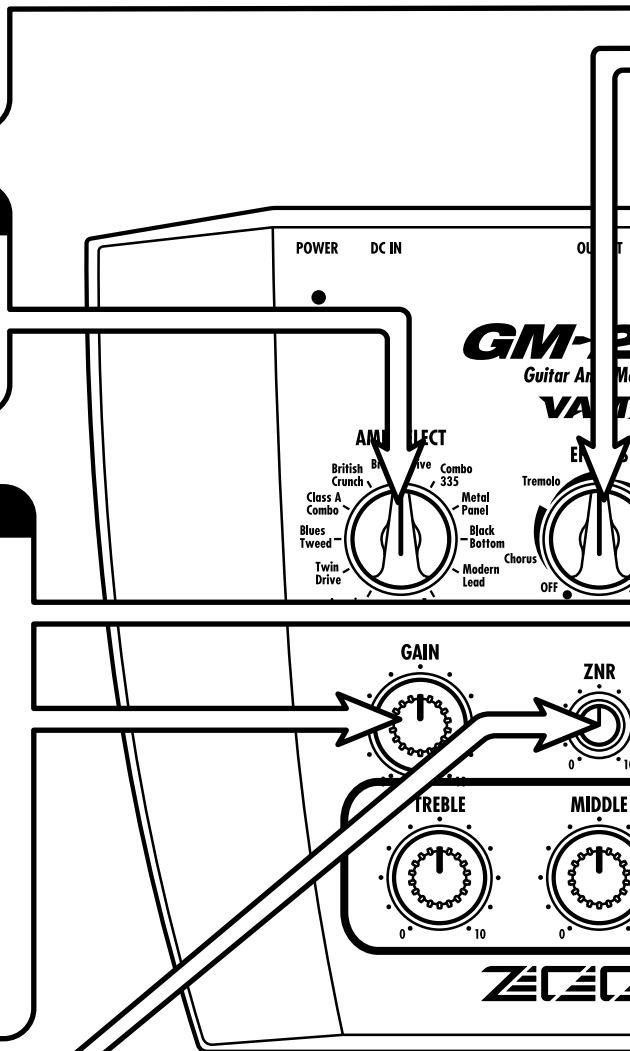


4. ZNR(ズームノイズリダクション)を調節する

ZNRコントロールを使って、無演奏時のノイズを軽減するZNRのかかり具合を調節します。左に回しきった状態でZNR=オフ、右に回していくとZNRのかかり具合が大きくなります。音の消え際が不自然にならない範囲で、最もノイズが少なくなるようにノブを調節してください。



アンプタイプやゲインの設定が変われば、それに応じてZNRの最適な設定も変化します。AMP SELECTスイッチやGAINコントロールの設定を変更したときは、ZNRコントロールを再調節してください。



5. エフェクトの種類とかかり具合を調節する

EFFECTSコントロールを使って、次の4種類のエフェクトの中から1つを選択し、そのかかり具合を調節します。

● TREMOLO (トレモロ)

音量が周期的にうねるトレモロエフェクトです。TREMOLOの範囲内でノブを右に回していくと、トレモロのうねりが速くなります。

● ECHO (エコー)

テープエコー風のやわらかいエフェクト音が特徴のディレイエフェクトです。ECHOの範囲内でノブを右に回していくと、繰り返し音の間隔(ディレイタイム)が長くなります。

● CHORUS (コーラス)

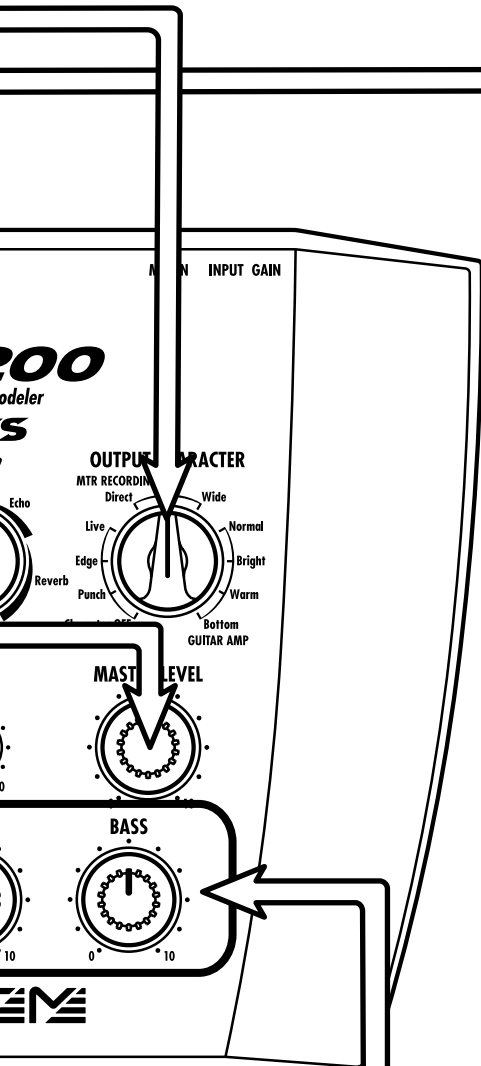
音に厚みと暖かみを与えるステレオ仕様のコーラスエフェクトです。CHORUSの範囲内でノブを右に回していくと、コーラスのうねりが速くなり、同時にエフェクト音のミックス量が増加します。

● REVERB (リバーブ)

スプリングリバーブ風の残響感が得られるリバーブエフェクトです。REVERBの範囲内でノブを右に回していくと、エフェクト音のミックス量が増加します。なお、残響の長さや広がり感は、AMP SELECTスイッチの設定に応じて変化します。

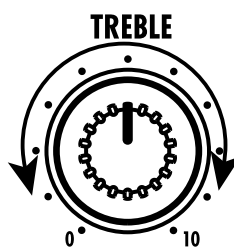
● OFF (エフェクトオフ)

エフェクトをオフにした状態です。

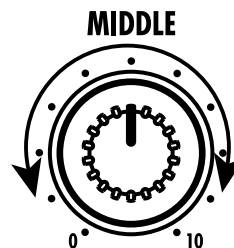


6. トーンを調節する

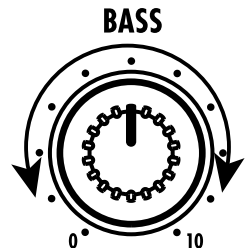
TREBLE/MIDDLE/BASSの各コントロールを使って、高音域/中音域/低音域の音量を調節します。



高音域



中音域

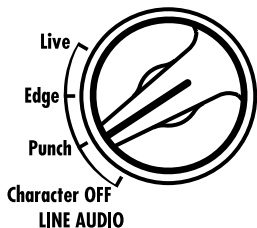


低音域

アウトプットキャラクター一覧

OUTPUT CHARACTERスイッチを使って、次の中から出力信号の特性を選択します。
GM-200の接続方法(4ページ参照)や音色の好みに応じて選択してください。

LINE AUDIO (ラインオーディオ用)



オーディオコンポやラジカセなどの再生システムに接続したときに、最適な音色が得られるキャラクターです。通常プリアンプやコンパクトエフェクターの出力を直接オーディオコンポで鳴らすと、どうしても平坦な音になってしまいますが、これらのキャラクターを使えば、メリハリのある、引き締まったギターアンプサウンドが得られます。

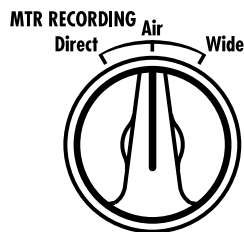
Character OFF : アンプタイプの特性を活かした、標準的な音色です。

Punch : 中音域を強調した迫力のある音色です。

Edge : アタックのキレがいい硬めの音色です。

Live : ライブ感を持った、スッキリとした音色です。

MTR RECORDING (レコーディング用)



GM-200をMTR/レコーディングミキサーなどに接続してライン録音するときに、最適な音色が得られるキャラクターです。これらのキャラクターを使えば、プロのレコーディングに使われるギターサウンドを簡単に得られ、録音したときに他の楽器音とうまく馴染ませることができます。

Direct : ギターアンプをオンマイクで収録したような音色をモデリングします。

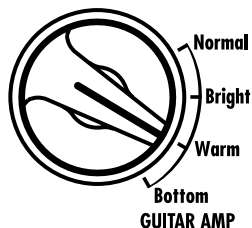
Air : 部屋鳴りの空気感をモデリングします。オフマイクによるアンビエンスを追加したようなイメージで、空間的な奥ゆきが加わります。

Wide : マイクを2本使ってステレオ録音した、広がりのあるサウンドをモデリングします。



位相差を利用した特殊な効果です。設定した音色や演奏する音程によって定位感などが変わることがあります。

GUITAR AMP (ギターアンプ用)



ギターアンプに直接接続したときに、最適な音色が得られるキャラクターです。

Normal : ギターアンプに接続したときの基本音色です。

Bright : 高音域を強調したきらびやかな音色です。

Warm : 中音域を強調した暖かみのある音色です。

Bottom : 低音域と高音域を強調したドンシャリ系の音色です。

アンプタイプ一覧

AMP SELECTスイッチを使って、次の中からモデリングするギターアンプの種類を選択します。

American Clean	シングルコイルタイプのエレクトリックギターで有名なアメリカのメーカーが、1960年代に開発した真空管コンポアンプのモデリングです。名機と呼ばれたこのアンプは、きらびやかでクリーンなサウンドと、スプリングリバーブによる美しい残響音を特徴としていました。このアンプタイプは、その特徴的なクリーンチャンネルをモデリングしたものです。使用するギターによっては、GAINコントロールの設定により歪む場合があります。
Twin Drive	上記のアンプのドライブチャンネルをモデリングした、アンプタイプです。ドライブチャンネルとは言っても、歪みはそれほどきつなく、クリーンチャンネルと同様に伸びのある高音が得られます。
Blues Tweed	1950年代に上記と同じメーカーから発売された、小型の真空管コンポアンプのモデリングです。本来はビギナーの練習用として開発されたものでしたが、小音量でも素晴らしい歪みが得られるため、60年代のロックやブルースのレコーディングに頻繁に使われています。GAINコントロールを上げすぎずに、ピッキングの強弱に応じて歪みの量が変わるようにするといいでしょう。
Class A Combo	1960年代のリバプールサウンドの代名詞ともなった、イギリス製の真空管コンポアンプをモデリングしたアンプタイプです。技術的には、整流器に真空管を使用し、クラスA動作の増幅回路を採用するなど、ユニークな設計でも知られています。クリーンサウンドやクランチサウンドが特徴的ですが、GAINコントロールを上げていくに従って、硬めの歪みが得られます。
British Crunch	1980年代に、スタックアンプの王道とも言うべきイギリスのメーカーから発売された、真空管スタックアンプをモデリングしたアンプタイプです。このアンプタイプは、同社のアンプの中でもマスターボリューム付きの“800系”と呼ばれるシリーズをイメージしたものです。GAINコントロールを下げてでも若干歪んだクランチサウンドが得られる点が特徴です。
British Drive	上記と同じメーカーの“800系”の後継に当たる“900系”と呼ばれるシリーズのアンプを、フルドライブさせたアンプタイプです。GAINコントロールとMASTER LEVELコントロールを調節することで、クランチサウンドから深いディストーションまで、バリエーション豊かな歪みが得られます。伝統的なハードロック／ヘビーメタル系のリードサウンドが欲しいときには最適です。
Combo 335	1960年代後半に、サンフランシスコ周辺でアンプのハイパワー改造を請け負っていたメーカーが、ハンドメイドで生産を始めた真空管コンポアンプのモデリングです。オリジナルのアンプは、キメの細かいオーバードライブサウンドと、ロングサスティンが特徴です。フュージョン系のリードに最適です。
Metal Panel	上記メーカーが、1990年代のメタルバンドのために、歪み重視で設計した真空管スタックアンプのモデリングです。オリジナルのアンプは、整流器としてダイオードまたは真空管を切り替えることで、サウンドキャラクターをガラリと変えられる点が特徴です（このため、“整流器”という意味のシリーズ名が付いています）。特に、ディストーションサウンドでリズムを刻むような用途には最適です。
Black Bottom	1980年代～1990年代に、アメリカのアンプメーカーと超有名ハードロックギタリストが共同開発したことで話題を呼んだ、真空管スタックアンプのモデリングです。型番がアルバムのタイトルにもなったオリジナルのアンプは、迫力ある低音と、ハイゲインでキメの細かい歪みが特徴です。
Modern Lead	1980年代半ばに、アメリカのカスタムアンプメーカーによって製造されたヘッドアンプをモデリングしたアンプタイプです。1990年代に入ってから、ウーマントーンで有名なギタリストなどのツアーやレコーディングに盛んに使われるようになってきました。このアンプタイプは、ハイゲインなドライブサウンドをモデリングしたもので、リード向けの音色が得られます。
Fuzz Stack	ファズで音を歪ませてスタックアンプで鳴らしたような、1960年代風のサウンドです。アンプで鳴らしたときと同じように、迫力ある音色が得られます。単音弾きのリードやリフに使うといいでしょう。

サンプルセッティング (LINE AUDIO)

オーディオコンポ/ラジカセを使ってギターを演奏する場合のセッティング例です。

- ・ ZNR/MASTER LEVELコントローラーは、お好みで調節してください。
- ・ ギターアンプを使って以下のセッティングを演奏したいときは、OUTPUT CHARACTERスイッチを“GUITAR AMP”のキャラクターに切り替えてお試しください。

ブラックパネル時代のサーフサウンドです。エフェクトをトレモロに変えても面白いでしょう。	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
	American Clean	Reverb	Live				
サザンロックによく合う、銀パネル時代のドライブサウンドです。	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
	Twin Drive	Echo	Live				
これぞ、まさしくMr.Bassman。古き良き時代のブルースギターサウンドです。	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
	Blues Tweed	OFF	Punch				
リバブルサウンドにかかせないコンポアンプのクランチサウンド。	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
	Class A Combo	OFF	Live				
抜群にヌケのいい800系クランチ。	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
	British Crunch	OFF	Character OFF				
ハイゲインスタックアンプの定番、900系のドライブサウンド。	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
	British Drive	OFF	Live				
粘りのあるリードに最適な、家具調高級コンポアンプ。	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
	Combo 335	Reverb	Live				
エッジの効いたデュアルサウンド。	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
	Metal Panel	OFF	Edge				
バックイング演奏にはコーラス、ライトハンド奏法にはリバーブを加えれば、これこそアメリカンロック。	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
	Black Bottom	Chorus	Live				
シングルコイルのフロントピックアップを使えば、ウーマントーンに。	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
	Modern Lead	Reverb	Punch				
左用ギターを歯で弾いてみよう？	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
	Fuzz Stack	OFF	Edge				

サンプルセッティング (MTR RECORDING)

MTRに直接録音する場合のセッティング例です。

- ・ ZNR/Master Levelコントローラーはお好みで調節してください。
- ・ ギターアンプを使って以下のセッティングを演奏したいときは、OUTPUT CHARACTERスイッチを“GUITAR AMP”のキャラクターに切り替えてお試しください。

	AMP SELECT	EFFECTS	OUTPUT CHARACTER	GAIN	TREBLE	MIDDLE	BASS
パッキング用のクリーンなコーラスサウンド、シングルコイルのハーフトーンにマッチします。	American Clean	Chorus	Wide				
スローハンドの曲に合わせて弾いてください。	Twin Drive	Chorus	Air				
ブルースキングのサウンドです。	Blues Tweed	Reverb	Air				
モダンなクラスAコンボのサウンド。ローポジションのコードを思いっきり鳴らしてください。	Class A Combo	OFF	Wide				
オルガンと相性が良い、70年代ハードロックサウンド。	British Crunch	Reverb	Air				
ブリティッシュスタックアンプの王道メタルサウンド。	British Drive	Chorus	Air				
Mr.335のフュージョンサウンド。	Combo 335	Chorus	Air				
ZNRを強めに設定し、緊張感のあるリフを刻んでください。	Metal Panel	OFF	Air				
Good Enoughなハードロックに。	Black Bottom	Chorus	Wide				
ロックのインストゥルメント曲に最適ナリードーン。	Modern Lead	Reverb	Air				
Are You Experienced?	Fuzz Stack	Tremolo	Wide				

サンプルセッティング

故障かな？と思う前に

症状	確認	対策
音がでない、非常に小さい	・適切なACアダプターが接続されて、POWERスイッチがオンになっていますか？	⇒ 「電源を入れる」のページに従って、電源をオンにしてください。
	・INPUT端子のギター、OUTPUT端子の再生装置が正しく接続されていますか？	⇒ 「接続しましょう」のページに従って、接続してください。
	・ご使用のシールドケーブルは正常ですか？	⇒ シールドケーブルを交換してみてください。
	・アンプの電源は入っていますか？ ギターや再生装置のボリュームは適切ですか？	⇒ アンプの電源を入れ、適切な音量になるようにボリュームを調節してください。
	・MASTER LEVELコントロールが下がっていませんか？	⇒ 適切な音量になるようにMASTER LEVELコントロールを調節してください。
	・ZNRの設定は適切ですか？	⇒ 音の立ち上がりや消え際が不自然にならないように、ZNRコントロールを調節してください。
電池の消耗が早い	・マンガン電池を使用していませんか？	⇒ アルカリ電池をご使用ください。

製品仕様

◆内臓プログラム

AMPタイプ	11タイプ
トーンコントロール	3バンド
OUTPUT CHARACTER	11タイプ
エフェクトタイプ	4タイプ
ZNR	

◆サンプリング周波数

40kHz

◆A/D変換

20bit 64倍オーバーサンプリング

◆D/A変換

20bit 128倍オーバーサンプリング

◆インプット

INPUT	標準モノラルフォンジャック×1
入力インピーダンス	480Kオーム
ゲインスイッチ	HIGH パッシブタイプ ピックアップ エレクトリックギター用
	LOW アクティブタイプ ピックアップ エレクトリックギター用

MIX IN	ミニステレオフォンジャック
入力インピーダンス	10Kオーム
基準入力レベル	-10dBm

◆アウトプット

RCA ピンジャック	
出力インピーダンス	600オーム
基準出力レベル	-10dBm~+4dBm

ライン/ヘッドフォン兼用アウト
標準ステレオフォンジャック(ヘッドホン兼用)

出力インピーダンス	33オーム
基準出力レベル	-10dBm~+4dBm (出力負荷インピーダンス10KΩ以上時)

◆電源

付属ACアダプター	
DC9Vセンターマイナス(AD-0006)	
電池	単三乾電池×6
連続使用	約10時間(アルカリ電池使用)

◆外形寸法

215mm(W) x 175mm(D) x 65mm(H)

◆重量

600g(電池含まず)

※0dBm=0.775Vrms

※製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ZOOM®

CATCH US IF YOU CAN

株式会社ズーム

〒183-0022 東京都府中市宮西町2-10-2ノアビル1階

TEL: 042-369-7111 FAX: 042-369-7115

ホームページ <http://www.zoom.co.jp>